お知らせコーナー

▦ 稗原小学校 ▦

和太鼓って気持ちいい！

稗原小学校では、「地域の文化や伝統を大切にし尊重しようとする心を育てる」ことをねらいの一つとして、今年度より、一年生から六年生までどの学年も、和太鼓を音楽科の指導計画の中に位置づけ、教育活動に取り入れています。

全校で取り組むには、楽器が足りないので、ＰＴＡ、地域の方からのご協力をいただいています。また、潮見台みどり幼稚園の藤田園長さんのご協力をいただき、すばらしい講師の先生のご紹介もあり、教職員と四年生以上は、専門家に、スタートのあいさつと演奏の姿勢から始まり、リズム打ちを指導していただいています。

和太鼓のひびきは体にしみわたるようで、だれにでも音が出せるので、子どもたちも職員も、夢中で演奏しています。

あそびにきてね こども文化センター

▦ 蔵敷こども文化センター ▦

☎９７７－２５７７

こども文化センターでは、青少年が明るく健やかに成長してくれることを願って、川崎市が地域の子どもに開放する遊び空間です。月曜日と祝祭日は休館ですが、毎日９時半から夕方６時まで遊べる子どものためのスペースです。

館内には卓球や将棋、オセロなどのゲームがあります。毎週水曜日には図書の貸出もしています。お祭りや、キャンプ、流しそーめん、こどもフェスティバルなどの年中行事の他に、映画会、ゲーム大会、工作教室もあります。

手作り飛行機大会　１１月１１日（土）
　ゴム動力のヒコーキを作り、菅生小体育館で飛行時間を競います。

ＰＫ大会（高学年）１１月１８日（土）
ＰＫ大会（低学年）　２２日（水）
　楽しく元気にゴールをねらおう !!

こどもフェスティバル１２月９日（土）
　子どもの実行委員を募集します。
　詳しくは「センターだより」で

▦ 菅生こども文化センター ▦

☎９７６－０４４４

お楽しみ会　１２月１６日（土）
　クリスマス会を兼ねての一年間の遊びの集大成。幼児クラブ、ひまわり人形劇クラブ、じてんしゃクラブ、もえぎジュニアが発表します。出し物はお楽しみ。サンタが楽しいプレゼントを配ります。

リーダークリスマス会　１２月下旬予定
　中・高生を中心としたパーティ。キャンプやリーダー研修会など行事にはなくてはならないリーダーたちのお楽しみ会

おとなは分館へ

▦ 菅生分館 ▦ ☎９７７－４７８１

しめ縄づくり　１２月下旬に予定。
　講師は菅生在住の坂大さん。

女性学講座　１月２６日から１０回。
　毎週金曜午前１０時～１２時。
　詳しくは「分館だより」で

バザー

菅生小学校　１１月２３日（祭日）
　お楽しみに。菅生小ＰＴＡ主催

編集後記 地域と学校でつくる広報紙です。ご意見や情報をお寄せください。

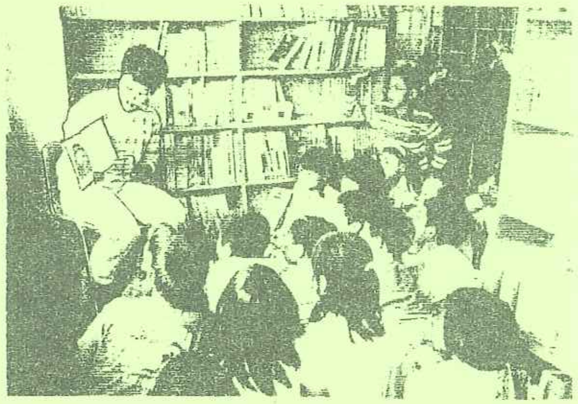
菅生中学校区地域教育会議ニューズレター（６）

１９９５年１１月８日
発　行：　菅生中学校区
　　　　　地域教育会議
編　集：　広報委員会
事務局：　菅生中学校
　　　　　☎977-8787

とらいあんぐる菅生

取り組んでいます－地域・学校（１）

「絵本」がかけはしに



菅生小の図書室で、金曜日の休み時間に地域のお母さん方が、子どもたちに絵本を読む会を開いています。

絵本を読んでいるのは、地域の母親たち。菅生小ＰＴＡのＯＧでもあり、菅生地域で長年文庫活動を続けてきた伊藤千代子さんが、「絵本を子どもたちに読んであげたい」という気持ちをＫ先生に相談したのがきっかけで、とんとん拍子で実現したもの。参加の呼びかけに応じて集まったのは、子育て真っ最中のお母さん方４名。参加の動機は、「勉強のつもりで」とか「子どもたちの表情が見られるのが楽しいから」と控えめだが、いきいきとした表情が印象的でした。「先生方は様子を見にきてくれたり、要望にすぐ対応してくれる。そのさりげない応援が嬉しい」と伊藤さん。絵本を読む会は毎週金曜日の２０分休みに図書室で。活動を始めて１年になるそうです。

この日、集まってきた子どもたちおよそ３０人は、伊藤さんが読む絵本にくいいるように見入っていました。『ヘビのクリクター』に続き読み進めた『１００まんびきのねこ』では、時折、「うわーっ」「すげぇー」と歓声があがり、眼はキラキラ。終わって、子どもたちに聞いてみると、「面白かった」「楽しい！」「毎週楽しみにしている」と元気な声が返ってきました。子どもたちにすっかり定着しているようです。

「継続してやってくださるお母さん方がいなくてはできないことです」と、校長先生。地域からの熱いラブコールに応えて、こんな選択もできるという機会を子どもたちに与えることができる、「開かれた学校」を感じました。

委員会から

お年寄りと子どものレクリエーション会
－ふれあい委員会－

１０月１４日（土）午前１０時より菅生分館において、「お年寄りと子どものふれあいレクリエーション会」を開きました。

当日は大人５０名、子ども２０名と、大変多くの方々が集まってきました。参加者は、生後２ヵ月の赤ちゃんから８４歳のおばあちゃままでと、文字通り「ふれあいレクリエーション会」となりました。

タオルを使った簡単な体操で体をほぐし、おなじみの『向ケ丘小唄』『川崎おどり』で一汗かきました。『線路は続くよどこまでも』では、みんなで輪になり大合唱。ダンスが得意な参加者がいらして、そのお手本を見ながら踊った『一円玉の旅がらす』は大好評で４回も繰り返すほどでした。菅生中の山田先生の飛び入りで、ギターの弾き語りも加わってまたまた大合唱の盛り上がりをみせました。照れて輪からはずれてしまう子もいましたが、ジャンケン大会では、みんな真剣でした。

楽しく過ごした後は、お待ちかねの昼食タイム。皆さん、おなかがペコペコの様子で、用意した豚汁とおにぎりはとても喜ばれました。

今回は、お年寄りと子どもを対象としましたので各世代のふれあいレクリエーションとまではいきませんでしたが、次の年度へつないでいくふれあい委員会の第一歩として、しっかり踏み出せたのではないかと思います。今後は、「地域教育会議」という存在をもっと多くの方々に知っていただくためにもたくさんの「ふれあいの場」を提供していけたらと思っています。

地域のグループに取材中
－生涯学習委員会－

昨年度は、地域で活動しているグループ分けと、それを地図の上に書き入れる作業を終えました。今年度は、さて、この地図をどう生かすかについて、皆で検討しました。さまざまな活動をしているグループ同士の横のつながりができないものか、この活動をたくさんの人に紹介し、支援できないかということになりました。

現在は、１８９グループの中から８団体を選び、発足年度、活動内容を取材中です。取材してみると新たな発見があったりしますし、取材記事を持ち寄ると、「次はこういうことも聞いてみては？」と一度の取材では終わりません。

活動しているグループをたくさんの地域の人たちに知ってもらうためにも、このマップが皆さんの橋渡しになれたらと思います。地図と取材した記事を組み合わせて、『生涯学習マップ』は出来上がります。お手元に届く日をご期待ください。

危険箇所に表示
－青少年健全育成委員会－

７月、８月に菅生地区１１ヵ所で行われた盆踊りを、ＰＴＡの方々と共に巡回。９月３０日、１０月１日の二日間にわたる菅生神社のお祭りでは、青少年指導員、防犯関係者、小・中学校ＰＴＡと巡回しました。

昨年度は、稗原小学校地区の危険箇所およそ２０地点に表示看板を取り付けました。今年度は、菅生小学校区を中心に、危険箇所の点検と表示看板の設置を検討しています。

【いじめを考えるシリーズ４】　小学生に聞きました
いじめたことある？　いじめられたことは？

小学生は（稗原小　休み時間に）・・・

●キックされた。泣いてもやられた。友だちにやられた。（低、男）●何もしないのになぐってくる。「やめて」「何で？」と聞いたけどやめてくれなかった。先生に言ったらやめた。（中、男）●ぶったり、けったりするのはつっこみみたいなもんだよ。（高、男）●クラスが半分に分かれたとき、先生が察してくれて、全員で話し合いをして言いたいことを言わせてくれた。関係のある人同士でも話し合ったけど、お互いに誤解があったことや、どちらが悪いとは言えないことが分かってよかった。（高、女）●先生は何もしてくれない（高、女）●ちいさなことがきっかけで仲間から無視された。４、５人から始まった無視がだんだん増えてきた。先生がみんなの前で仲良くするように言ってくれたときは仲良く遊んだけど、次の日は同じだった。（高、女）

先生は（稗原小児童指導担当）・・・

Ｑ：何もしないのになぐられたと言うのは？Ａ：ＴＶの影響が強いのでは。いじめとふざけの区別が難しい。注意すると「ふざけてるだけ」と返してくる。Ｑ：判断はどのように？Ａ：教師が自分だけで解決しようとすると、回りの状況や大切なものを見落とす。学年や学校全体で考えるようにしている。Ｑ：例えば？Ａ：じっくり、その子なりの言い分を聞いてやる。やってはいけないことを知らせる。高学年の子どもたちは自力で解決できるといい。女子は長くかかる。仲裁に入るタイミングが難しくこじれることもあるので注意が必要。「いつも気にかけているよ」と子どもにアピールしていくことを心がけている。Ｑ：学校としては？Ａ：児童指導委員会を月一回、校長を交えて行う。専門の先生のアドバイスも受けている。『子どもの権利条約』を学び、多くのことに気づかされた。謙虚になる教師の姿勢が大切だと痛感している。家庭や地域と連帯して心の豊かさを育てていく必要を感じる。

インタビューして（広報委員）

大人から見ると深刻な原因ではなくても子どもにとっては大変なことであったり、感性も一人ひとり違う。人間と関わる教師は大変だなあと思いました。いじめは対処療法だけでは解決にならない。心の豊かさは子どもだけでなく、大人にも求められているのだと思います。